

生命化学科

教職コースの受講許可を受けた学生は『教職課程受講ガイド』を参照してください。

カリキュラムの特徴

1 生命化学科科目群には、必修科目、選択科目があります。

必修科目（講義・実験・演習）

生命化学科で学ぶ上で最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。

選択科目

各自の必要に応じて履修する科目

（生物資源学教科目群・生物環境システム学教科目群・教職関連科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）

2 領域配属（教職コースを除く）

生命化学科には、「生物化学領域」「食品機能化学領域」「細胞制御化学領域」「環境化学領域」の4領域があります。第7セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

- (1) 第6セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。
- (2) 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数は改めて連絡します。
- (3) 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第5セメスター終了時に領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細は改めて連絡します。

卒業要件

卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み7単位以上を修得していること
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上、言語表現科目群から6単位以上を含み、合計20単位以上を修得していること
- ③ 生命化学科科目群の必修講義科目30単位（必修選択科目2単位を含む）を修得していること
- ④ 生命化学科科目群の必修科目の実験・実習・演習科目（「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業論文」を除く）19単位を修得していること
- ⑤ 生命化学科で開講されている選択科目22単位以上を修得していること
- ⑥ 「卒業研究Ⅰ」4単位、「卒業研究Ⅱ」4単位、「卒業論文」2単位を修得していること
- ⑦ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ⑧ 上記要件をすべて満たし、合計124単位以上を修得していること

卒業までの単位配分

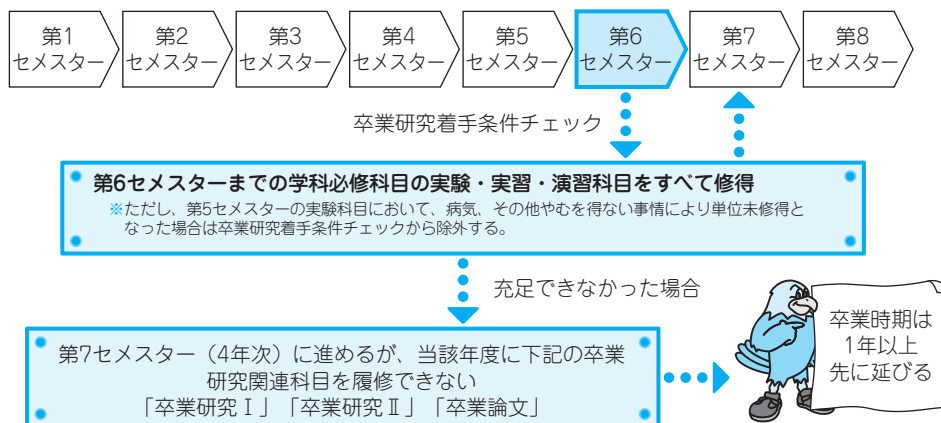
卒業に必要な最少単位数は、第1 Semesterから第8 Semesterまで、合計124単位で、生命化学科の場合その内訳は次のとおりです。

ユニバーシティ・スタンダード科目	
玉川教育・FYE科目群	7単位
人文科学科目群	4単位以上
社会科学科目群	4単位以上
自然科学科目群	4単位以上
学際科目群	2単位以上
言語表現科目群	6単位以上
生命化学科必修科目	59単位
必修講義科目	30単位（必修選択科目2単位を含む）
必修実験・実習・演習科目	29単位（卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、卒業論文を含む）
生命化学科選択科目	22単位以上
選択科目	任意
他学部・他学科開講科目 ユニバーシティ・スタンダード科目 他大学との単位互換科目	
計	124単位以上

履修条件

第6 Semester終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、卒業研究に着手できません。

第6 Semester（3年次）終了時における卒業研究着手条件チェック



【参考】
農学部教職コース履修案内
「教職課程受講ガイド」
p. 40

履修上の留意事項

- (1) ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、生命化学科生が履修してはいけない科目は次の2科目です。
「生物学入門」「化学入門」
- (2) C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.37を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたうえで、適切に手続きを行ってください。
- (3) 時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合がありますので、UNITAMAおよび大学7号館の掲示を十分確認してください。
- (4) 「食品加工実習Ⅱ」、「植物工場実習」、「インターンシップ」は夏期休暇等を利用して実施されます。これらの科目および「食品加工実習Ⅰ」の履修希望者は事前ガイダンスに必ず出席して下さい。これらの科目は希望者が多数の場合、ガイダンス出席者に対し抽選または審査を行う場合があります。「食品加工実習Ⅱ」、「植物工場実習」の履修登録・単位認定は授業後の翌学期に行い、当該学期の履修上限16単位に含まれます。
- (5) 教職関連科目群の科目は、教職課程の受講許可を受けた学生だけが履修することができます。